

平成29年度

岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書

(平成28年度事務事業対象)

平成29年9月

岩出市教育委員会

## はじめに

岩出市教育委員会では、第2次岩出市長期総合計画に掲げたまちづくりの基本方針である「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現に向け、学校教育の充実並びに青少年健全育成、生涯学習・スポーツの推進及び文化・芸術の振興に努めてまいりました。

また、平成28年度の重点目標として、「確かな学力の育成と文化・スポーツの振興」を掲げ、その推進に当たっては、家庭や地域社会との連携協力を図りながら取り組んできたところです。

本報告書は、本市教育委員会の課題や、今後の取組の方向性を明らかにし、教育行政の一層の推進を図るとともに、市民から信頼される教育行政を推進するため、平成28年度に実施した事務事業の点検評価をまとめたものです。

点検評価の結果を踏まえ、よりよい教育の実現を目指し、教育行政の充実に努めてまいります。

平成29年9月

岩出市教育委員会

## 目 次

I 岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価の報告について	
1 点検・評価の経緯	1
2 点検・評価方法について	1
3 教育委員会評価委員	1
4 点検評価結果	2
【教育総務課】	
(1) 学校環境の充実（教育環境の充実）	2
(2) 学校環境の充実（学力の向上）	4
(3) 学校環境の充実（学校給食の充実）	5
(4) 学校環境の充実（家庭・地域との連携）	6
(5) 国際化の推進	7
【生涯学習課】	
(1) 学校環境の充実	8
(2) 健全育成のための環境づくり	8
(3) 生涯学習の充実	9
(4) 生涯スポーツの推進	11
(5) 文化・芸術活動の活性化	13
(6) 歴史・伝統文化の振興	14
(7) 人権尊重の推進	15
【岩出図書館】	
(1) 子ども読書活動推進事業	16
(2) 図書館運営事業	17
【民俗資料館】	
(1) 文化・芸術活動の活性化	20
(2) 歴史・伝統文化の振興	21

## 5 教育委員会事務事業評価一覧表

### 【教育総務課】

事務事業評価一覧表	23
-----------	----

### 【生涯学習課】

事務事業評価一覧表	27
-----------	----

### 【岩出図書館】

事務事業評価一覧表	33
-----------	----

### 【民俗資料館】

事務事業評価一覧表	35
-----------	----

## II 関連資料

○平成28年度教育委員会事務事業評価に関する意見書の提出について	36
○岩出市教育委員会評価等実施要綱	41

## I 岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価の報告について

### 1 点検・評価の経緯

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、PDCAのマネジメントサイクルを確立すべく、平成28年度における岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価について第2次岩出市長期総合計画に基づき実施した事業のうち、主な48事業について点検・評価を実施した。

### 2 点検・評価方法について

点検・評価の方法については、教育総務課、生涯学習課、岩出図書館、民俗資料館の2課2館で、各事業をその目的ごとに施策としてまとめ、施策単位で評価を実施した。

評価については、4段階「a：期待以上」、「b：期待どおり」、「c：やや下回る」、「d：期待以下」の基準を設けた。

評価の今後の方向性については、「廃止」、「見直し」、「完了」、「継続」の4つの基準を設けた。

点検・評価の報告書については、平成29年8月22日と平成29年9月6日、2回の教育委員会評価委員会を開催し、本市の教育に関し学識経験を有する方々に意見・助言をいただき、確認のうえ取りまとめた。

各事業については、平成28年度教育委員会事務事業評価一覧表のとおりである。

### 3 教育委員会評価委員

氏名	職名
土生川 政幸	元岩出市立小学校長
大西 利雄	社会教育委員議長
松田 晃作	青少年育成市民会議委員長

## 4 点検評価結果

【教育総務課】

### (1) 学校環境の充実（教育環境の充実）

#### 〔基本方針〕

児童・生徒が安全で安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備するため、計画的な施設及び教材・教具等の整備に努めるとともに、不登校児童・生徒に対する教育相談体制の充実を図る。

また、生涯にわたる人間形成の観点から、生涯学習の基礎を培い、心身の健全育成と多様な社会環境に適応できる能力を持った児童・生徒の育成に努める。

#### 〔平成28年度の主な取組状況〕

- いわでアスリートクラブ事業では、陸上競技を通じて、小学校3年生から6年生の児童の心身の健全育成に努めた。  
実施回数：36回 登録者数：268名。  
実施場所：中央小学校又は大宮緑地総合運動公園。
- 適応指導教室事業では、学校や関係機関と連携を図り、児童・生徒の在籍校への復帰に努めた。  
入室児童・生徒数：小学生0名、中学生14名（左記以外に、体験小学生4名、中学生4名）。  
延べ日数：小学生0日、中学生493日。  
来所相談者：21名 電話相談件数：7件 訪問件数：67件。
- 特別支援教育就学奨励費扶助事業を実施することにより、保護者の負担軽減に努めた。  
小学校：59名 中学校：15名。
- 要保護・準要保護児童・生徒扶助事業を実施することにより、保護者の負担軽減に努めた。  
小学校：365名 中学校：253名。
- 中学校防災訓練については、災害への危機意識を高める授業の一環として、中学3年生全員を対象として、那賀消防組合、市消防団等の協力を得て実施した。  
岩出中学校：256名 岩出第二中学校：301名。
- 防災ジュニアリーダー育成事業については、中学生の希望者を募り、夏休

みの2日間、那賀消防組合消防本部及び中消防署の協力を得て実施し、防災の啓発・指導・実践活動ができるジュニアリーダーの育成を行なった。

防災ジュニアリーダー 42名

市地域防災訓練 14名

- 小・中学校の補修工事については、優先順位により計画通り事業を実施し、児童・生徒の安全確保に努めるとともに、耐用年数の延長を図った。
- 通学路整備工事については、各学校より危険箇所の報告を受け、関係機関等の合同点検を実施し、改修工事を施工した。
- 倒壊による事故を未然に防止するため、通学路危険ブロック塀等改善事業補助を計画し、市防災訓練においても周知のパンフレットを配布したが、利用件数はなかった。
- 教材・教具等の整備については、小・中学校とも、計画に基づき購入することができた。図書については、岩出図書館からの司書や学校ボランティアの意見を参考に選書することができた。また、すべての小・中学校の蔵書数が標準冊数に達している。
- 登下校時の危険防止のため、児童携帯用防犯ブザー購入費を補助し、防犯ブザーの携帯を奨励したが、個人で購入していたりして、申請率は伸び悩んでいる。  
160名分を補助 申請率31.1%。

#### 〔総合評価〕

- ◎ 学校環境の充実（教育環境の充実）については、9事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」が7事業、「やや下回る」が1事業、「期待以下」が1事業と評価し、今後の方向性は9事業全てを「継続」とした。
- いわでアスリートクラブ事業については、登録者が減少している。指導者の確保が課題である。
- 適応指導教室事業については、入室困難な児童・生徒がいるため、学校、家庭及びスクールカウンセラーや他機関との連携強化を図っていく必要がある。また、通室しやすい環境の整備が課題である。
- 中学校防災訓練については、訓練内容がマンネリ化してきていることから改善が必要である。
- 防災ジュニアリーダーについては、市地域防災訓練に参加し、育成講座で学んだ知識を活用し、リーダーとして活動した。
- 小・中学校施設改修事業については、補修工事、環境整備工事の実施により教育環境の整備が図られた。
- 通学路危険ブロック塀等改善事業については、児童・生徒の安全確保を

図るために必要な事業であり、地域住民への周知方法の改善に努める必要がある。

#### 〔評価委員会の意見〕

- 適応指導教室事業については、児童・生徒及び保護者への周知を徹底し、学校へ登校できない児童・生徒への入室推進及び入室者の在籍校復帰に向けた取組に尽力されたい。また、入室者が安心して過ごせるよう、教室環境の整備について、移転も含め再度検討されたい。
- 防災ジュニアリーダーについては、中学生の積極的な参加を募り、防災意識の向上に努められたい。また本事業をきっかけに、リーダーとして地域で活躍できる生徒の養成に努められたい。
- 小・中学校施設改修事業については、避難所としての機能を兼ね備えた改修も視野に入れて計画されたい。
- 教材・教具の整備については、学力の向上に必要であると考えられることから、図書も含め今後も充実に努められたい。また、次回の学習指導要領改訂に伴い、ICTの整備についても検討されたい。
- 児童携帯用防犯ブザー補助事業については、防犯ブザーの携帯が児童の安全を確保するために必要であることから、事業についての周知に努め、申請率の向上に努められたい。

## (2) 学校環境の充実（学力の向上）

#### 〔基本方針〕

「生きる力」を育むため、個人の尊厳と個性の尊重という基本的な考えに立ち、一人ひとりの能力と個に応じた教育実践に努めるとともに、教職員の資質向上を図る。

#### 〔平成28年度の主な取組状況〕

- 学力向上実践研究事業により、小中学校教職員を先進校に派遣し、教職員の指導力向上を図り、学んだことを自校及び市教職員研修会で伝達した。  
福山市立新涯小学校等（15名）、高槻市立冠中学校等（13名）に派遣。

#### 〔総合評価〕

- ◎ 学校環境の充実（学力の向上）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。



- 学力向上実践研究事業については、先進校を視察した教職員の指導力向上となったが、今後自校及び市内各校への視察内容の還元が強く求められる。

〔評価委員会の意見〕

- 学力向上実践研究事業については、視察した教職員だけにとどまらず、校内及び市内全体のスキルアップに努めるとともに、学力向上に向けた具体的な取組を実践されたい。

### (3) 学校環境の充実（学校給食の充実）

〔基本方針〕

地産地消率の向上に努め、栄養バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供する。

また、学校給食費の完全徴収を目標に、児童手当からの徴収をはじめ、学校と連携しながら学校給食の運営に努める。

〔平成28年度の主な取組状況〕

- 学校給食については、保護者を対象に試食会を開催し、普段児童・生徒が食べている給食を試食してもらった。また、給食の時間に栄養士による巡回を行い、食育の指導を行った。

給食費の徴収については、学校と連携を図るとともに児童手当からの徴収を行い、現年度の徴収率は昨年度より上回った。

地産地消の推進 旬の野菜21品目使用 地産地消率56.8%

(H27:旬の野菜21品目使用 地産地消率59.2%)

徴収率(現年度)99.32%(H27徴収率(現年度)98.78%)

〔総合評価〕

- ◎ 学校環境の充実（学校給食の充実）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 学校給食については、地元産の食材を取り入れ、栄養バランスのとれた献立を提供したが、地産地消率が昨年度より下がっているため、地元産の食材を使用した献立づくりをさらに推進する。
- 給食費の徴収については、特に現年度の完全徴収の強化に努める必要があることから、より一層学校との連携を図り、徴収率の向上に努める。

〔評価委員会の意見〕

- 児童・生徒が毎日食べる給食については、安全・安心の徹底に努められたい。また、給食費の徴収については、公平性の観点から引き続き現年度の完全徴収への取組を強化していただきたい。

#### (4) 学校環境の充実（家庭・地域との連携）

〔基本方針〕

家庭・学校・地域及び行政が連携を密にし、協力を得ながら、ふるさと教育の充実に努める。

〔平成28年度の主な取組状況〕

- 紀の国緑育推進事業については、実体験だけでなく、学習効果を高めるための事前及び事後学習を行なった。

参加児童数：529名 場所：日高川町 日高川ふれあいドーム

- 和歌山を元気にする職場体験事業については、平成28年度からは、職場体験に臨む前にマナー教室を実施することで、社会人としての心構えやマナーを身につけた。

岩出中学校 284名 94事業所

岩出第二中学校 271名 76事業所

〔総合評価〕

- ◎ 学校環境の充実（家庭・地域との連携）については、2事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」が2事業と評価し、今後の方向性は2事業を「継続」とした。
- 紀の国緑育推進事業については、自然と触れ合う機会が減少している現代の児童にとって貴重な体験ができる事業であり、環境への興味・関心を高めることができた。
- 事業所の協力を得て中学2年生を対象に3日間の職場体験を実施し、生徒に勤労観及び職業観を身に付けさせることができた。

〔評価委員会の意見〕

- 和歌山を元気にする職場体験事業については、生徒の社会への視野を広げるためにも受け入れ事業所や職種を増やしてみてはどうか。

## (5) 国際化の推進

### 〔基本方針〕

外国語教育の充実と国際感覚の優れた人材育成に努めるとともに、国際理解推進のための教育を行なう。

### 〔平成28年度の主な取組状況〕

- 外国青年を招致して各中学校2週間ごとに英語授業の助手としてネイティブな授業を実施した。

### 〔総合評価〕

- ◎ 国際化の推進については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- A L T自身が市民との交流について積極的であったため、外国語教育の充実と国際交流の進展が図られ、英語教育や国際理解教育の充実に大きな役割を果たしていることから、継続的な実施が必要である。

### 〔評価委員会の意見〕

- 外国青年招致事業については、今後も引き続き実施されたい。また、学習指導要領の改訂に伴い、小学校への派遣を検討されたい。

## 【生涯学習課】

### (1) 学校環境の充実

#### 〔基本方針〕

学校、家庭、地域が一体となって子どもの育ちや学びを支えるため、学校支援、学習支援、校内環境整備など学校支援ボランティアによる取り組みを推進する。

#### 〔平成28年度の主な取組状況〕

- 学校支援地域本部事業については、根来小学校における家庭・地域の方々による授業補助やゲストティーチャー、小学校芝生の管理などの活動を支援した。

#### 〔総合評価〕

- ◎ 学校環境の充実については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」で、今後の方向性は「継続」であり、今後も、根来小学校における学校・家庭・地域が一体となった学校支援活動の支援に努める。

#### 〔外部評価委員の意見〕

- 学校支援地域本部事業については、コミュニティスクールの実施に向け、他校への拡大も含め検討するということであるが、併せて、地域と保護者と学校の連携強化に努められたい。

### (2) 健全育成のための環境づくり

#### 〔基本方針〕

青少年健全育成に関わる各種団体の活動の充実と各組織との連携強化に努め、家庭・学校・地域及び行政がそれぞれの果たす役割を明確にし、青少年を取り巻く様々な問題について取り組み、子どもの育つ環境を守るとともに、地域社会を形成している大人に対しても、青少年の健全育成に対する重要性や意識の向上に努める。

〔平成28年度の主な取組状況〕

- 青少年健全育成事業については、「青少年育成市民会議」をはじめ、青少年が心豊かに成長することを願う各組織の強化・充実を図った。また、「あいさつ運動」、「見守り活動」、「子ども安全パトロール隊」などの活動を通じて、青少年を取り巻く環境の安全確保を図った。

他にも、青少年センターでは、青少年の健全育成及び非行防止として、不良行為の早期発見、早期指導、補導活動、少年相談、立ち直り支援などに努めた。

- 成人式事業については、新成人を励ますとともに、大人となったことの自覚を促すため、成人式を開催した。

〔総合評価〕

- ◎ 健全育成のための環境づくりについては、2事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」で、今後の方向性は「継続」であり、今後も、学校・警察・青少年センター及び家庭・地域関係団体等が行政と一体となって、青少年が健やかに育つ環境づくりに努める。また、成人式を開催し、大人となったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます。

〔外部評価委員の意見〕

- 青少年健全育成事業については、地域や各種団体と連携した活動により、犯罪抑止効果において一定の成果をあげているが、岩出市でも少子化高齢化が進んでおり、ジュニアリーダーの育成など継続した取組となる仕組みづくりを図られたい。

### (3) 生涯学習の充実

〔基本方針〕

市民一人ひとり生きがいを持って、人生を送ることのできる活力あるまちづくりを進めるため、学習者の主体性を尊重し、「いつでも、どこでも、誰でも学べる」、「共に生き、共に学ぶ」ことができる環境づくりに努める。

〔平成28年度の主な取組状況〕

- 放課後子ども教室推進事業については、子どもたちの安全・安心な居場所づくりのため、小学校の空き教室等を利用して、地域の方々の参画を得て、学習活動・文化活動を通して、地域住民との交流活動に取り組んだ。

6小学校で72教室、参加児童延べ人数は5,593名。

- 生涯学習を考えるつどい事業については、文化祭の前夜祭として、コンサートを実施した。

生涯学習を考えるつどいミニLIVE～自身と故郷に誇りと愛を～

参加者数386名

- 公民館事業（ふれあい・成人・家庭教育）については、市民一人ひとりが生涯学習の各過程において、適切に学習できる「場」と「機会」を提供し、あらゆる世代に親しまれる事業を実施した。

成人講座は、10講座、受講者数は延べ1,306名。

ふれあい学級は、11講座、受講者数は延べ2,176名。

家庭教育学級は、10か所（保育所(園)、幼稚園)、受講者数は948名。

- 公民館教室事業は、学習機会と市民のふれあいの場を提供するため、年間を通して市民の学習ニーズのある教室を開催した。

文化教室は、15講座、受講者数は延べ265名。

パソコン教室は、2教室、受講者数は47名。

- 公民館講座事業は、講座を通して想像力を育て友達づくりや交流の場を提供するため、気軽に参加できる講座を開催した。

夏のこども講座は、6講座、受講者は160名。

冬のこども講座は、3講座、受講者数は59組。

冬の講座（一般）は、1講座、受講者数は33名。

- 地区公民館運営事業については、文化協会活動など市民の自主的な活動を支援するため、公民館8館の管理運営を実施した。

- 地区公民館改修事業については、3か年計画の最終年度として、上岩出地区及び紀泉台地区公民館の福祉避難所対策工事を実施した。

〔総合評価〕

- ◎ 生涯学習の充実については、7事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」が7事業で、今後の方向性は「継続」が6事業、「完了」を1事業

とした。今後とも市民の自主的な文化活動を支援するとともに、教室や講座等の事業の必要性や有効性等を常に検証しながら事業展開を図っていく必要がある。

〔外部評価委員の意見〕

- 公民館事業については、市民の学習ニーズの把握に努め、学習者が主体的に活動できる事業運営に努められたい。
- 公民館改修については、年次計画的に進められた福祉避難所対策工事は完了としているが、快適に利用いただくため、計画的な施設整備に努められたい。

(4) 生涯スポーツの推進

〔基本方針〕

市民一人ひとりがライフステージに応じた生涯スポーツ社会の実現に向け、スポーツを通じた体づくり・健康づくりに親しむことのできる環境づくりに努める。

〔平成28年度の主な取組状況〕

- スポーツ推進委員会運営事業については、委員による各種スポーツ大会等の運営及びニュースポーツ教室を開催した。
- スポーツ少年団等助成事業及び体育協会助成事業については、市民の健全な体育及びレクリエーションの振興、青少年の健全育成のため、補助金を交付した。

スポーツ少年団	17団
体育協会	21団体
- 大会等選手派遣補助事業については、スポーツ活動の振興とスポーツ活動団体の育成を図るため、各種スポーツ大会の出場に要する経費の一部を補助した。

全国大会は10件、近畿大会は5件、県大会は13件の計28件。
- スポーツ・レクリエーション事業については、市民体力テストやニュースポーツ教室を実施した。
- 市マラソン大会事業については、岩出市誕生10周年記念事業として、

ゲストランナーを招聘し、参加者の健康と体カづくり、生涯スポーツの普及と振興を目的に、マラソン大会を開催した。このことにより、岩出市を広くPRすることができた。

参加者数は、2,731名

- 市民運動会事業については、岩出市誕生10周年記念事業として、オリンピック金メダルの展示も行い、市民のスポーツ振興とレクリエーションの普及・浸透を図り、よりよい人間関係を育むと共に、明朗・活発な人間育成のため実施した。

参加者数は、8,571名

- スポーツ施設運営事業及びスポーツ施設整備事業については、安全かつ快適にスポーツ施設を利用していただくため、総合体育館のフリー開放や必要な点検・整備を実施した。
- スポーツ教室事業については、市民のスポーツ振興を図り、健康で明るいまちづくりを推進する事を目的に実施した。

親子教室は、176名の参加。

ヨガ教室は、38名の参加。

エアロビクスは、42名の参加。

#### 〔総合評価〕

- ◎ 生涯スポーツの推進については、10事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」が10事業で、今後の方向性は「継続」とした。今後とも、市民のスポーツニーズに応えるため、施設の老朽化対策を年次計画的に進め、各種スポーツの振興に努める。

#### 〔外部評価委員の意見〕

- 生涯スポーツの推進については、競技性の高いスポーツ行事や気軽に参加できるスポーツイベントなど、市民のスポーツニーズに応じた取組を進められたい。
- スポーツ施設については、安全・快適に利用いただけるよう計画的な整備に努められたい。



## (5) 文化・芸術活動の活性化

### 〔基本方針〕

創造性のある文化の薫り高いまちづくりに向けて、拠点となる文化施設の整備・運営の充実を図り、多種多様な芸術・文化に触れる機会を充実させるとともに、文化団体の育成・支援に努める。

### 〔平成28年度の主な取組状況〕

- 文化祭事業については、岩出市誕生10周年記念事業として、「大好きなまち 岩出市」絵画コンクールの実施や市民の文化活動の成果を発表する機会を設け、文化活動の振興と普及を図り、参加を通じて文化への理解を深め、心がふれあう活力あふれるまちづくりを目的に開催した。

参加人数は18,103名。

- 公民館フェア事業については、文化教室及び公民館利用サークルの日頃の成果発表の場を設け、人々の出会い、ふれあいの機会をつくり、公民館活動・文化活動に対する理解と関心を深めることを目的に開催した。

コンサート 13団体で191名の参加。

ギャラリー 19団体で202名の参加。

チャリティー 2団体で41名の参加。

- 文化協会助成事業については、市民の文化振興、文化交流に資するため、補助金を交付した。

文化協会 41クラブ

### 〔総合評価〕

- ◎ 文化・芸術活動の活性化については、3事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」が3事業で、今後の方向性は「継続」とした。
- 文化祭については、岩出市誕生10周年記念事業としての取組を実施したが、出品数が横ばい状態であり、多くの市民に出品いただけるよう、企画・運営等協議し、幅広く参加できるよう努める。

〔外部評価委員の意見〕

- 文化祭事業については、新たな出品や参加者が得られるよう市内高校生への出品を呼びかけてはどうか。

(6) **歴史・伝統文化の振興**

〔基本方針〕

郷土文化の保存継承並びにふるさと教育を更に充実させるため、文化遺産や文化的資源の保護・活用を図り、地域文化活動の支援に努める。

〔平成28年度の主な取組状況〕

- 国史跡根来寺境内周辺保全管理事業については、国史跡に指定されている根来寺境内及びその周辺の歴史に培われた文化遺産を守り、後世に伝えていくため、委員会を開催し、委員の指導助言を参考に適正な保全を図った。
- 埋蔵文化財活用事業については、ねごろ歴史資料館において、根来寺境内等の地域の特色ある埋蔵文化財の総合的な公開活用を実施した。
- 根来の子守唄保存事業については、熊本県天草市で開催された全国子守唄サミット&フェスタ in 天草に参加したほか、ねごろ歴史の丘活用事業を実施した。

全国子守唄サミット&フェスタ in 天草

ねごろ歴史の丘活用事業

コンサート 参加者 200名

講演会 参加者 206名

フォーラム 参加者 88名

〔総合評価〕

- ◎ 歴史・伝統文化の振興については、3事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」が3事業で、今後の方向性は「継続」とした。
- 根来の子守唄保存事業については、平成28年度をもってサミット&フェスタが休止となったことから、「根来の子守唄」を保存・継承していくた

めの仕組みづくりとひとづくりに努める。

〔外部評価委員の意見〕

- 根来の子守唄の保存・継承のため、平成28年度で休止となった子守唄サミット&フェスタに代わる取組を進められたい。

(7) **人権尊重の推進**

〔基本方針〕

同和問題はもとより、女性、子ども、高齢者、障害者などあらゆる人権問題の解決に向け、市民の人権意識の高揚に努める。

〔平成28年度の主な取組状況〕

- 人権啓発事業については、人権尊重思想の普及・高揚を図り、市民に人権問題に対する正しい認識を広めるため、講演会の開催や小中学生の人権作文集の発行などを実施した。

〔総合評価〕

- ◎ 人権尊重の推進については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」が1事業で、今後の方向性は「継続」とした。
- 絵本作家を講師に迎え、同和問題をテーマに原画パネル展と併せて講演会を開催した。今後も多くの方に参加いただけるよう、創意工夫を凝らし人権問題に関する正しい認識を広められるよう努める。

〔外部評価委員の意見〕

- 人権講演会において、より多く新たな方に参加いただけるよう、今後も関係機関と連携を図りながら事業を展開されたい。

## 【岩出図書館】

### (1) 子ども読書活動推進事業

#### 〔基本方針〕

家庭・地域・学校がそれぞれの機能を発揮し、子どもが自主的に読書活動を行えるよう、学校や図書館などの関係機関、民間団体等と緊密に連携し、相互に協力しながら、子どもの発達段階に応じた読書活動を積極的に推進する。

また、図書館及び学校図書館の図書資料や施設・設備を充実し、子どもの身近なところに読書のできる環境を整備するとともに、読書の意義や重要性について、市民の理解と関心を深める。

#### 〔平成28年度の主な取組状況〕

- 図書館司書派遣事業では、岩出図書館から司書資格を有したスタッフを学校司書として市内各小・中学校にそれぞれ37日派遣し、児童・生徒への読み聞かせ・ブックトーク・アニメーションや授業で使用する図書の収集、ピブリオバトルに関する指導をするなど、読書支援・学習支援を行った。前年度に比べ、学校司書が授業等を支援する機会が増え、学校司書の活用度が上がってきた。

団体貸出については、小学校は前年度に比べ貸出冊数が1割強減少しているが、中学校は前年度に比べて2.7倍に増加している。小学校の減少は、学校司書が学校図書館の図書の選書に対する助言を行い、学校図書館の蔵書が充実してきていること、並行読書・調べ学習に使う図書を計画的に必要な分だけ貸出できるようになってきたことによるものと思われる。

- 家族ふれあい読書推進事業では、市内の小中学生のうち配付対象学年の児童・生徒に「うちどくノート」を配付するとともに、うちどくの啓発のため、おすすめの図書のリストから出題する「うちどくクイズ」や各小学校から選出された児童の「うちどくの記録」の展示を実施した。また、「うちどくノート」の紙の材質や書き込み用紙の様式を変更するなど、より活用しやすくした。

#### 〔総合評価〕

- ◎ 子ども読書活動推進事業については、2事業の評価を実施し、「期待どおり」が1事業、「やや下回る」が1事業で、今後の方向性は2事業とも「継続」とした。
- 平成29年度に岩出市で「図書館を使った調べる学習」地域コンクールを実施するため、全小中学校が調べ学習に一斉に取り組むこととなり、学校が必要とする図書館からの団体貸出の図書分野が重なる可能性がある。学校での取組に支障が出ないよう、今まで以上に学校司書同士の情報交換・連携を図る。
- 「うちどくノート」の活用については、学校司書を派遣し始めてから、少しずつ上がってきているが、図書館が期待している活用度には達していない。

平成29年度配付分から、「うちどくノート」に掲載している「うちどくにおすすめのブックリスト」を一部リニューアルし、よりうちどくに組みやすくなる。また、小学校低学年から習慣的にうちどくに組みんでもらえるよう、小学校の就学前健診の時に、図書館職員が各小学校に出向き、保護者への啓発を直接行う。

#### 〔外部評価委員の意見〕

- 年々学校での学校司書を活用した取組が増えており、図書館司書派遣事業が軌道に乗ってきている。  
今後も、学校と図書館が連携を密にし、児童・生徒の読書意欲・学習意欲を一層高めるとともに、うちどくノートのさらなる利活用についても推し進めていただきたい。

## (2) 図書館運営事業

#### 〔基本方針〕

図書紹介、行事案内やサービス内容など様々な情報を発信したり、おはなし会、イベント事業、講演会を開催することにより、市民の図書館に対する理解や関心を深め、図書館利用の促進を図る。

また、岩出図書館資料収集基準に基づき、公共図書館の役割、利用者各層の要求及び社会の動向を十分配慮して、広く市民の文化、教養、調査、研究、趣味、娯楽等に資するため、図書等を幅広く収集し、地域密着型図書館として、市民の身近にあって、「いつでも、どこでも、誰にでも」図書館サービスが受けられるよう努める。

〔平成28年度の主な取組状況〕

- 平成28年4月から、図書の貸出冊数を5冊から10冊に、視聴覚資料の貸出期間を1週間から2週間にすることにより、利用者の利便性を図った。

イベントでは、開館10周年の年であったので、他部署と連携しながら、絵本作家の講演会・絵本原画展や子ども向けの電気教室など目新しいイベントを開催することにより、日頃は岩出図書館を利用していない方にも参加してもらうことができた。岩出図書館キャラクターのふくろうの名前の募集では、たくさんの応募があり（「ブックろう」に決定）、図書館に対する関心を持ってもらうことができた。

入館者数は、197,829名

貸出点数は、400,553冊

貸出人数は、111,524名

登録者数は、29,968名

- 図書等購入事業については、計画通り資料を購入できた。できるだけ利用者の要望に応えながら、資料の充実を図った。

図書

一般図書 7,553冊

児童図書 3,520冊

参考図書 180冊

計 11,253冊

視聴覚資料

DVD 100枚

CD 100枚

計 200枚

#### 〔総合評価〕

◎ 図書館運営事業については、2事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」が2事業で、今後の方向性は「継続」とした。

○ 貸出冊数は増加したものの、入館者数・貸出人数が若干減少している。一度に借りられる冊数が増えたので、図書館に来館する回数が減少したためと考えられる。

平成29年4月からは、以前から要望があった県内在住者・近畿大学生理工学部通勤通学者に利用対象を拡大することにより、新規利用者を開拓し、入館者数・貸出人数の増加を図る。

前年度の課題であった駅前ライブラリーと中央公民館図書室の利用については、中央公民館図書室は自主学習での利用者が多くなったので入館者が増加した。一方、駅前ライブラリーは、他の館・室は年によって増加・減少を繰り返しているなか、減少の一途をたどっている。引き続き、高校生の利用を促進するため、那賀高校図書室と連携し、積極的に図書館のPRを行うとともに、大学入試過去問題集（赤本）の所蔵を検討する。

○ 平成28年度末で、岩出図書館（分館・分室含む）の蔵書冊数は290,355冊（うち本館は254,336冊）となった。今後も、利用者のニーズや社会の動向を把握し、資料収集を行うとともに、引き続き寄贈の呼びかけや古書店等での購入により郷土資料の充実を図る。

#### 〔外部評価委員の意見〕

○ 開館10周年を迎え、様々な記念イベントや目新しいイベントを開催し利用促進に努めており、蔵書においても、計画的に購入し、充実している。今後も、入館者数・貸出人数を増やすべく、市民のニーズに合ったイベントを実施するとともに、利用対象の拡大について広く周知し、新規利用者の開拓を図っていただきたい。

## 【民俗資料館】

### (1) 文化・芸術活動の活性化

#### 〔基本方針〕

創造性のある文化の薫り高いまちづくりに向けて、岩出図書館や根来歴史資料館・旧和歌山県議会議事堂と連携し、それぞれの基本的な役割と機能を十分踏まえた上で、時代や市民のニーズに対応すべく地域文化を育成する活動の支援に努める。

#### 〔平成28年度の主な取組状況〕

○ 民俗資料館資料収集事業は、民俗資料館の常設展観事業で使用する根来漆器について年次計画を立てて購入するもので、28年度は計画どおり3点を購入した。

○ 民俗資料館展観事業では、市民に郷土の歴史・文化に関心と理解を深めていただくことを目的に収集資料品展、根来寺所蔵宝物展、所蔵品展、秋季企画展、根来塗講座受講生作品展示、岩出市文化協会作品展示を開催した。

収集資料品展は民俗資料館資料収集事業で購入した根来漆器を常設展示するもので、本年度に購入したものと年度途中で展示品の入替えを行い、秋季企画展の「根来塗展」は、根来寺や岩出市民が所蔵する根来漆器を中心に展示し、根来塗について理解を深めていただいた。

根来寺所蔵宝物展は、春季と冬季の2回にわけて「根来裂」と「近世の根来版」をテーマにした展示を行い、根来寺の宝物についての理解を深めていただき、寄贈品で実施した所蔵品展の「昔の道具展」は、展示品を通じてひと昔前の生活に思いをはせていただいた。

根来塗講座受講生と岩出市文化協会8団体の作品展示では、日頃の活動成果発表の場としてご利用いただき、作品展示を一目見ようと訪れる市民の交流の場として賑った。

収集資料品展入館者数	40,018名
秋季企画展入館者数	7,824名



根来寺所蔵宝物展入館者数	10,070名(2回分)
所蔵品展入館者数	3,026名
根来塗講座受講生作品展示入館者数	5,767名
岩出市文化協会作品展示入館者数	6,393名(8団体の延べ人数)

#### 〔総合評価〕

- ◎ 芸術・文化活動の活性化については、2事業の評価を実施し、総合評価は、2事業ともに「期待どおり」、今後の方向性は「完了」が1事業、「継続」が1事業とした。
- 来館者の関心が高い根来漆器を収集することで、展覧事業の充実と活性化を図り、多くの来館者が「来てよかった」と感じていただけるように努める。また、根来寺が所蔵する宝物・関連する資料や民俗資料館の所蔵品の展示を通じて根来寺や岩出の歴史・文化に関心や理解を深めていただけるようさらに広報活動や展示内容の充実を図っていく。

#### 〔外部評価委員の意見〕

- 平成29年4月に「ねごろ歴史の丘」が道の駅として認定された。今後はこの「道の駅」との相乗効果が得られるようにするために、根来寺をはじめとする近隣施設とより連携の強化に努めていく必要がある。
- 展示資料の入替えは来館者のリピーターを生むことにつながると考えられるので、さらに回数を増やすことができないか検討してほしい。

## (2) 歴史・伝統文化の振興

#### 〔基本方針〕

文化遺産や文化的資源の保護及び活用を図るとともに、伝統芸能の伝承を促進し、文化・芸術の振興を図る。

#### 〔平成28年度の主な取組状況〕

- 民俗資料館歴史学習・講座事業は、市民の方に多様な視点から郷土の歴史や成り立ちについて学びふれあう機会を提供することを目的に歴史講座、歴史学習会、秋季企画展講演会を実施した。

歴史講座は「根来寺の石塔を探る」と「ふるさと岩出の歴史探訪」をテーマに2回開催し、根来寺や郷土岩出の歴史について理解を深めていただいた。

歴史学習会は、小学校高学年を対象に古代のアクセサリーを自ら作る体験学習「勾玉づくり」をテーマに夏休み子ども歴史学習会を2回開催し好評であった。さらに成人を対象に「神社とまつり」をテーマにふるさと歴史学習会を開催し、神社におけるまつりのもつ意味について理解を深めていただいた。

秋季企画展講演会は、「根来寺と工人」をテーマに開催し、様々な職人が根来寺と関係を持っていたことに理解を深めていただいた。

歴史講座	第1回参加者数	55名
	第2回参加者数	51名
夏休み子ども歴史学習会	第1回参加者数	40名
	第2回参加者数	37名
ふるさと歴史学習会参加者数		50名
秋季企画展講演会参加者数		50名

#### 〔総合評価〕

- ◎ 歴史・伝統文化の振興については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 「勾玉づくり」をテーマに開催した夏休み子ども歴史学習会は、募集定員を超える申込みがあったので、来年度は実施回数等を増やして対応する必要がある。

また、歴史講座はアンケート結果で要望の多い根来寺関連や郷土岩出の歴史等の中で特に関心や注目度の高いテーマのものを実施していく。

#### 〔外部評価委員の意見〕

- 市民の方に多様な視点から郷土の歴史や成り立ちについて学びふれあう機会を提供することを目的に開催している事業であるので、多くの市民の方に参加してもらうために、広報活動の充実に努めていく必要がある。

5 平成28年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【教育総務課】

番号	目標 施策名	基本施策名 (重点施策名)	事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
						評価	今後の 方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
1	心豊かな 人が育つ まち	学校環境の充 実(教育環境 の充実)	いわでアスリートク ラブ事業	陸上競技を通じて、児 童の心身の健全育成を 図る。	毎週土曜日の午前中に、中央小 学校又は大宮緑地総合運動公園 を使用して、岩出市内の小学生(3 年生以上)を対象に、陸上競技活 動を実施する。	b	継続	登録者は268名で昨年度よりは16名減少した。参加児 童ののべ人数も昨年比472名減少している。しかし、出席 率は昨年より1.1%増加している。最初何回か来ただけで 来なくなる児童も多く、特に冬は参加者が少なくなる傾向が ある。 他のスポーツクラブと兼ねる児童が多く、競技力が高くて も大会への参加が難しい場合がある。 指導者は、小学校の教員が多く、学校等の行事と重なり 指導者が不足する時がある。 指導者は全てボランティアであるため、交通費だけでも支 払えるよう予算措置を検討したい。
2	心豊かな 人が育つ まち	学校環境の充 実(教育環境 の充実)	適応指導教室事業	心理的要因等により 学校生活に適応できず 登校できない児童及び 生徒の在籍校への復帰 を目的とする。	不登校児童・生徒に対し、在籍校 への復帰や自立を図るための指 導及び援助、不登校児童・生徒に 対する教育相談、学校等関係機関 との連携を行う。	b	継続	小学生の入室者は昨年と比べ1名→0名、中学生の入室 者は21名→14名と減少している。また、電話及び来所相 談件数は63件→28件と減少した。入室者の中でも、ほぼ 毎日出席できる生徒と全く出席できない生徒がいるため、 出席できない生徒への働きかけが必要である。 昨年度に引き続き、入室が困難な生徒に対して、在籍校 と連携を図り家庭訪問等連絡を密にし、本教室の活用を促 進するとともに、通級しやすい環境づくりと入室者の増加に 伴い環境の整備も課題である。 中学3年生の入室者及び体験者全員が高等学校へ進学 している。
3	心豊かな 人が育つ まち	学校環境の充 実(教育環境 の充実)	特別支援教育就学 奨励費扶助事業 (小・中学校)	特別支援学級に在籍 する児童・生徒の保護 者に対し、特別支援教 育就学奨励費を国の基 準により支給し、特別支 援教育の振興を図る。	学校給食費、修学旅行費、校外 活動費、学用品費、新入学児童・ 生徒用品費、通学用品費に対する 扶助費である。 年3回(7月、12月、3月)支給す る。	b	継続	特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者の経済的 な負担が軽減され、特別支援教育の振興を図ることができ た。 本事業の果たす役割は大きく、今後も事業の継続が必要 である。
4	心豊かな 人が育つ まち	学校環境の充 実(教育環境 の充実)	要保護・準要保護 児童・生徒扶助事 業(小・中学校)	経済的理由によって就 学が困難と認められる 児童・生徒に対し、就学 の援助を行い、義務教 育の円滑な実施を図 る。	学校給食費、修学旅行費、校外 活動費、学用品費、新入学児童・ 生徒用品費、通学用品費に対する 扶助費である。 年3回(7月、12月、3月)支給す る。	b	継続	要保護・準要保護児童・生徒の保護者の経済的な負担 が軽減され、義務教育の円滑な実施を図ることができた。 経済的理由により就学困難な家庭にとって、本事業の果 たす役割は大きく、事業の継続が必要である。 また、修学旅行費について、これまで実施後の支給で あったが、保護者の経済的負担を考え、事前支給を検討し たい。

5 平成28年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【教育総務課】

番号	目標 施策名	基本施策名 (重点施策名)	事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
						評価	今後の 方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
5	心豊かな人が育つまち	学校環境の充実(教育環境の充実)	中学校防災訓練及び防災ジュニアリーダー育成事業	中学生の危機意識を高めるとともに、災害時の地域防災活動において中心的な役割を担うことを意識づけるために防災訓練を実施する。	防災訓練は、各中学校を会場に3年生全員を対象として実施する。防災ジュニアリーダー育成事業は、夏休みの2日間、那賀消防組合消防本部及び中消防署を会場に、中学生の希望者を募り実施する。本事業の受講者は、岩出市地域防災訓練にも参加する。	b	継続	地震の揺れに対する危機意識に対して、津波防災の危機回避の意識が低いと見られるため、次年度は視聴覚教材を用いた津波防災学習を追加し、危機回避に対する意識の向上を図る。
6	心豊かな人が育つまち	学校環境の充実(教育環境の充実)	小・中学校施設改修事業	小・中学校の施設劣化等に伴う補修及び通学路の整備工事を施工し、施設の安全確保及び耐用年数延長を図る。	児童・生徒の安全確保及び教育環境の整備・充実を図るため、校舎等の改修を行う。 また、各学校より危険箇所の報告を受け、道路管理者、岩出警察署及び各関係機関と連携を図り、通学路の危険箇所を改修し、児童・生徒の安全を図る。	b	継続	工事の施工により、施設の耐用年数の延長及び通学路などの教育環境の整備や児童・生徒の安全確保ができた。 今後も、老朽化対策及び維持管理の徹底を図るとともに、教育環境の整備や児童・生徒の安全確保のため、実施計画に基づき教育環境の整備を行なう。通学路の点検については、PTAにも立ち会ってもらい、危険箇所について共通認識をする。 また、文部科学省が平成32年度までに策定を求めている「個別施設ごとの長寿命化計画(個別計画)」について、策定に向け取り組む。
7	心豊かな人が育つまち	学校環境の充実(教育環境の充実)	通学路危険ブロック塀等改善事業	通学路に面したブロック塀等の倒壊による事故を未然に防止し、児童・生徒をはじめとする通行人の安全を確保する。	ブロック塀等の撤去、軽量塀等設置を補助する。	d	継続	岩出市広報、岩出市ウェブサイトに掲載するとともに、市政懇談会、区・自治会長会、市防災訓練でパンフレットを配布したが、申請はなかった。 児童・生徒の安全確保を図るために必要な事業であり、今後も周知に努める。
8	心豊かな人が育つまち	学校環境の充実(教育環境の充実)	小・中学校教材・教具等整備事業	教材・教具を整備し、学習に活用することで、児童・生徒の学習意欲の向上、教職員の指導の効率化を図る。	各学校で希望する教材・教具及び図書を選定、優先準備を付けたリストを作成させ、そのリストに基づき整備を行う。その際、教育委員会においても改めてリストに挙げられた教材・教具を精査し、効率的な整備が出来るよう努める。	b	継続	小・中学校とも教材・教具の充実・更新を図ることができ、児童・生徒の学習意欲向上及び教師の指導効率化に寄与した。また、図書については、全ての小・中学校において、標準冊数に達している。 今後も時代に即した、かつ学校のニーズを適切に判断した教材・教具の整備に努めるとともに、図書購入については、岩出図書館から学校に派遣している学校司書や学校ボランティアの意見を参考にし、児童・生徒に、より一層の読書意欲向上を図るための図書を選書していく。

5 平成28年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【教育総務課】

番号	目標 施策名	基本施策名 (重点施策名)	事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
						評価	今後の 方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
9	心豊かな人が育つまち	学校環境の充実(教育環境の充実)	児童携帯用防犯ブザー補助事業	防犯ブザー購入費の一部を補助することにより、携帯率を高め、児童を犯罪から保護し、危険を防止する。	各校PTAが防犯ブザーを購入する費用に対して、その1/2を補助する。ただし、児童1人につき1回限りとし、限度額400円。	c	継続	平成28年度の申請率は31.1%。登下校における犯罪等防止に効果を挙げているが、児童の好みに合った商品を独自に購入する家庭も多数あり、申請率は低い。 児童の安全を守るための事業であるため、今後も携帯率向上に努める。
10	心豊かな人が育つまち	学校環境の充実(学力の向上)	学力向上実践研究事業	学力向上先進校(地域)における研修や勤務校での実践研究を行うことで、学力向上に向けた専門性とリーダー性を備えた教員(中核教員)の養成と、身に付けた学力向上に効果的な指導方法を活用した授業実践の普及により、児童生徒の学力向上を図る。	(1)教職員の指導力・資質向上を図るため、学力向上先進校(地域)に教員を派遣し、実地研修を行う。(先進校派遣) (2)学力向上に係る研究発表会等に、教員を派遣する。(研究発表会派遣) (3)派遣教員の活用により、研修成果を市全体に普及・啓発し、児童生徒の学力向上に取り組み、自校の学力向上の推進を図る。	b	継続	県外の先進校を視察することにより、自校にはない実践的な取組を知り、各自の実践に取り入れたり、自校及び市内の各校に伝達することができた。 さらに一歩前進して、各校で学校全体の共通の取組として実践し、年度末の指標を明らかにした検証で達成状況を図っていきたい。
11	心豊かな人が育つまち	学校環境の充実(学校給食の充実)	学校給食運営事業	学校給食衛生管理基準に基づき、岩出市学校給食共同調理場の施設の整備や食器等の購入を行うとともに学校給食の運営の充実を図り適正化に努める。 また、学校給食への地場産物の活用は、児童・生徒が地域の食材を通して地域の自然や文化、生産に携わる人々の苦労や努力、食に対する感謝の気持ちを育むことを目的とする。 給食費の徴収については、お互いの連携を密接に行い、学校においては担任教諭や給食関係者ができる範囲の協力をして給食費完全徴収に取り組む。	学校給食を円滑に提供するための岩出市学校給食共同調理場の設備や食器等の整備について年次計画を立てて進める。 また、地産地消を推進するために地元産の食材を学校給食の食材として使用する献立づくりをする。 給食費については学校と連携を図るとともに、支払督促申立による債権差押により徴収率の向上に努める。	b	継続	学校給食は、栄養バランスの取れた献立となっている。 地産地消率は56.8%、現年度給食費徴収率は99.32%であった。 今後も、地産地消の推進と安全・安心な給食の提供を図るとともに、更なる学校との連携の強化や児童手当からの徴収を行い、新たな滞納者を増やさないよう現年度の完全徴収に努める。

5 平成28年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【教育総務課】

番号	目標 施策名	基本施策名 (重点施策名)	事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
						評価	今後の 方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
12	心豊かな人が育つまち	学校環境の充実(家庭・地域との連携)	紀の国緑育推進事業	児童が自然と触れ合う機会をつくり、環境学習の効果を高める。	県が実施する、紀の国森づくり税を財源とした補助事業の助成金を利用する。助成を受けるために、紀の国緑育推進事業補助金交付要綱及びその取扱要領に基づき事業計画書等を作成。それに基づき、学校教育の一環として森林を利用した体験学習を行う。	b	継続	自然と触れ合う機会が減少している現代の子どもたちにとって、本事業は貴重な体験ができる事業であり、森林や林業について学ぶだけでなく、環境への興味・関心を高める役割を果たしている。 事後学習では、森林体験を振り返り、まとめ学習や作文、間伐材を用いた木工を行うことで、学習効果を高めることができた。今後も、体験学習をより生かせるよう、事前・事後学習の充実に努める。
13	心豊かな人が育つまち	学校環境の充実(家庭・地域との連携)	和歌山を元気にする職場体験事業	職場体験事業を実施することにより、生徒に望ましい勤労観及び職業観を身に付けさせる。	各中学校において、事業所の協力を得て、中学2年生を対象に3日間の職場体験を実施する。	b	継続	接遇に関するマナー教室を実施することで、社会人としての心構えやマナーを身につけてから職場体験に臨むことができた。 今後の課題として、より多くの職種の事業所の確保が必要であり、事業所数の確保のため、再度商工会との連携を強化し、事業所への依頼を検討したい。
14	歴史を守り文化と国際化を育むまち	国際化の推進(国際意識の高揚)	外国青年招致事業	中学校の英語の授業において、外国青年の補助により、英語を多用した授業を実践することにより、外国語教育の充実及び推進を図る。	外国青年を招致して、ネイティブな授業を実施する。 岩出中学校、岩出第二中学校に各2週間ごとに英語授業の助手として活用する。	b	継続	ALT自身が早期に日本語習得に努め、日常会話が可能となったことから、授業だけでなく、その他の活動においても英語でのコミュニケーションが図られた。また、市民との交流についても積極的であるため、外国語教育の充実と国際交流の進展が図られた。 国際化が一層進展していく中、国際社会で活躍する日本人の育成において、英語教育や国際理解教育の充実に大きな役割を果たしている。 今後は、平成32年度の新学習指導要領の改訂に伴い、小学校への配置も検討したい。

5 平成28年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【生涯学習課】

番号	目標 施策名	基本施策名 (重点施策名)	事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
						評価	今後の 方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
1	心豊かな人が育つまち	学校環境の充実(家庭・地域との連携)	学校支援地域本部事業	学校・家庭・地域が一体となって子どもの育ちや学びを支える取組を推進する。	学校支援・学習支援・校内環境整備など学校支援ボランティアが学校と協力し活動	b	継続	地域の方々による学校支援ボランティアの活動により、授業補助、ゲストティチャー、小学校芝生の維持管理を実施。今後も継続し実施していく。 コミュニティスクールの実施に向け、教育総務課と連携しながら、他校での実施も検討する必要がある。
2	心豊かな人が育つまち	健全育成のための環境づくり(青少年をとりまく環境の整備)	青少年健全育成事業(青少年育成市民会議事業)	家庭・学校・地域社会と行政が連携し、安全な環境づくりを目指し、次代を担う青少年の健全な育成を図る。 県の指針に基づいた取組の実施に努め、効果を図る。	青少年の健全育成を図るため、様々な分野からの働きかけを行い、総合的に効果が上がるよう取り組む。 (活力ある地域活動・家庭教育支援活動・意識啓発のための活動・関係機関との連携、情報収集・子どもを守るための活動)	b	継続	「市民大会」、「スポレクフェスタ」など各事業において、従来どおりではなく、新たなプログラムの取組を行うことができ参加者にも好評であった。少子化が進む中、地域活動をどのようにしたいかが課題となっている。今後も各事業に取り組み、関係機関との連携により「あいさつ運動」や「見守り活動」の充実に努める。
3	心豊かな人が育つまち	健全育成のための環境づくり(青少年の自立と成長の促進)	成人式事業	新成人を励ますとともに、社会人としての自覚を促す。	式典、イベント、記念撮影	b	継続	イベント出演者の決定を採用3年目までの職員による企画提案書採点方式で決定。若者の意見を採用することで、イベントは好評であった。スムーズな運営のため、リハーサルや協力職員への事前説明を行った。今後も継続して行っていく。
4	生涯学習できるまち	生涯学習の充実(家庭・地域教育の充実)	放課後子ども教室推進事業	安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の参画を得て、勉強や文化活動、地域住民との交流活動を推進する。	学習活動、文化活動、地域住民との交流活動 など	b	継続	地域の方々の協力を得て、各種の教室を開催し、多数の小学生が参加した。今後も、協力者の確保に努めるとともに、学校との連絡を密にし、参加者の確保に努める。
5	生涯学習できるまち	生涯学習の充実(家庭・地域教育の充実)	生涯学習を考えるつどい事業	より豊かに充実した生活を送るための生涯学習機会を提供する。	文化祭の前夜祭として生涯学習を考えるつどいを開催	b	継続	次年度以降も、コンサート等の催しを開催する。
6	生涯学習できるまち	生涯学習の充実(家庭・地域教育の充実)	公民館事業(ふれあい・成人・家庭教育)	60歳以上対象のふれあい学級、20歳以上対象の成人講座、幼稚園・保育園(所)の保護者対象の家庭教育学級を開催し、相互の交流や積極的に地域社会に寄与するための学習活動を行う。	ふれあい学級 年11回／5学級 成人講座 年10回 家庭教育学級 年10回	b	継続	学習機会の提供と、市民のふれあいと交流を深めることができた。 参加者の希望に合わせた教室開催に向け、内容充実を図っていく。

5 平成28年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【生涯学習課】

番号	目標 施策名	基本施策名 (重点施策名)	事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
						評価	今後の 方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
7	生涯学 習でき るまち	生涯学習の充 実(公民館事 業の充実)	公民館教室事業	市民の学習ニーズに 合った教室を開催し、学 習機会の提供と、市民 のふれあいの場をつく る。 高度情報化社会に対 応するために、市民の パソコンの操作やデー タの整理等の基礎能力 の習得を目的とする。	書道教室、英会話教室、中国語 教室、男の料理教室、お菓子作り 教室、陶芸教室、コーラス(子ども) 教室等、15教室を平成28年5月 ～平成29年3月開催 パソコン基礎教室の開催(マウス 操作など基本操作からワード及び エクセルの基礎までのコース)平成 28年4月7日～平成29年3月15 日午前・午後各26回実施	b	継続	学習機会の提供と、市民のふれあいの場をつくること ができた。 11か月間を通しての開催であるため、特に回を重ねて進 行していく教室を含め、途中退会する方がいる。今後も学 習ニーズに合った教室開催に向け、内容充実を図ってい く。
8	生涯学 習でき るまち	生涯学習の充 実(公民館事 業の充実)	公民館講座事業	気軽に参加し、講座を 通じて創造力等を育 て、友達づくりや市民の 交流の場をつくることを 目的とする。	夏のこども講座 平成28年7月25・26・27日、8月 8・9・10日(サマーッキング実 施)延べ160名 冬のこども講座 平成29年1月14日、2月4・5日 (親子ッキング実施)親子延べ5 9組 冬の講座 平成29年1月28日(インド式ヨガ &スパイスチャイ体験)33名	b	継続	夏のこども講座は昨年度より回数より1回増やし、実施し た。今後も人気の高い講座を中心に、企画調整を図り、参 加者の確保に努める。
9	生涯学 習でき るまち	生涯学習の充 実(公民館事 業の充実)	地区公民館運営事 業	生涯学習を推進する ための拠点として機能 の整備充実を図る。	地区公民館の運営・管理	b	継続	市主催の各種教室や文化協会の活動など、住民ニーズ に対応した運営に努めている。今後も、多様化する住民 ニーズに対応した場と機会の確保に努める。 また、通常利用における設備等の修繕、施設用備品の修 繕・交換について緊急性の高いものから対応に努めた。
10	生涯学 習でき るまち	生涯学習の充 実(公民館事 業の充実)	地区公民館改修事 業	生涯学習を推進する ための拠点として施設 の整備充実を図る。	福祉避難所対策工事 上岩出地区公民館 紀泉台地区公民館 工期 平成28年9月22日～ 平成29年2月28日 (平成29年2月27日完成)	b	完了	平成26年度 岩出地区・船山地区・桜台地区公民館 平成27年度 根来地区・山崎地区公民館 平成26年度から3か年で実施した福祉避難所対策工事 が本年度で完了した。改修工事により災害時における避難 所としての利用以外に、平時においても施設利用者が安心 安全に利用することができるようになった。



5 平成28年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【生涯学習課】

番号	目標 施策名	基本施策名 (重点施策名)	事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
						評価	今後の 方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
11	生涯学 習でき るまち	生涯スポーツ の推進(ス ポーツ・レクリ エーションの 振興)	スポーツ推進委員 会運営事業	市民一人ひとりが生き がいを持って人生を送 ることができる活力ある まちづくりの実現に向 け、スポーツを通じて生 涯学習を推進するた め、地域の皆さんとの 連携の中で、スポーツ の企画・立案・実施を行 い、生涯スポーツ振興 を図る。	地域に根ざしたスポーツやレクリ エーションの振興事業の企画・立 案・実施並びに普及活動を展開	b	継続	岩出市民運動会・マラソン大会等の運営協力を得られ た。 スポーツ推進計画によるニュースポーツ教室の実施を継 続していく。 今後、障害者スポーツの推進についても検討していく必 要がある。
12	生涯学 習でき るまち	生涯スポーツ の推進(ス ポーツ・レクリ エーションの 振興)	スポーツ少年団等 助成事業	スポーツ少年団の普 及と育成及び活動の活 性化を図り、青少年の スポーツを振興し、もっ て青少年の心身の健全 な育成に資する。	市スポーツ少年団各団への助成	b	継続	ハンドボールが加入し、計17団体となっている。 各団の団員数を増やしていくことが課題。
13	生涯学 習でき るまち	生涯スポーツ の推進(ス ポーツ・レクリ エーションの 振興)	体育協会助成事業	市民の健全な体育及 びレクリエーションの奨 励に努め、社会人及び 青少年の運動競技の振 興とその育成強化を補 助する。	体育協会への助成	b	継続	体育協会21団体に対して補助。 市体育行事に参画して事業の協力を得た。
14	生涯学 習でき るまち	生涯スポーツ の推進(ス ポーツ・レクリ エーションの 振興)	大会等選手派遣補 助事業	スポーツ活動の振興 とスポーツ活動団体の 育成を図るため、各種 スポーツ大会の出場に 要する経費の一部を補 助する。団体・個人への 旅費補助(特定団体)	全国・近畿・県大会への補助(体 協・スポ少)	b	継続	全国大会:体育協会3件、スポーツ少年団7件 近畿大会:体育協会3件、スポーツ少年団2件 県大会:体育協会7件、スポーツ少年団6件
15	生涯学 習でき るまち	生涯スポーツ の推進(ス ポーツ・レクリ エーションの 振興)	スポーツ・レクリ エーション事業	多様化する市民のス ポーツ・レクリエーション ニーズを把握し、市民 のスポーツへの関心や 参加意欲を向上させ、 交流を促進するため、 スポーツ大会やスポー ツ教室などを開催する。	市民スポーツ大会・教室の開催。 年齢を問わず気軽に行なえる ウォーキング教室の開催。	b	継続	市民体力テストやニュースポーツ教室の開催などの実 施。

5 平成28年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【生涯学習課】

番号	目標 施策名	基本施策名 (重点施策名)	事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
						評価	今後の 方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
16	生涯学 習でき るまち	生涯スポーツ の推進(ス ポーツ事業の 充実)	市マラソン大会事 業	市民及び参加者に、 生涯スポーツの普及と 振興を推進するととも に、マラソン大会を開催 することにより、岩出市 を広く内外にアピール する。	一般15km・5km 小学生3km ファミリー2kmに分け、早春の根 来寺を走る。	b	継続	岩出市誕生10周年記念大会として、中村友梨香氏、な かやまさんに君をゲストランナーに招き、市内外から大勢 のランナーに参加していただいたが、今後に向けてはコース 設定や距離等について検討する必要がある。
17	生涯学 習でき るまち	生涯スポーツ の推進(ス ポーツ事業の 充実)	市民運動会事業	全ての市民が一堂に 会し、スポーツ・レクリ エーション活動に親し み、市民相互の親睦と スポーツを通しての健康 ・体力づくりを行なう 動機づけを図るととも に、市民の交流を深め ることを目的とする。	参加者が「体育の日」の1日をス ポーツで楽しめるよう、運動会種目 及びアトラクションを設定。	b	継続	岩出市誕生10周年記念大会として実施。 ミュンヘンオリンピックのメダル等の展示を行ったほか、新 しい運動会種目を導入した。 毎年多くの市民参加が得られているが、閉会式まで参加 していただいていない現状があることや、それに伴うプログ ラムの変更について検討。
18	生涯学 習でき るまち	生涯スポーツ の推進(ス ポーツ環境の 充実)	スポーツ施設運営 事業	市民に安全かつ快適 に施設を利用してもら い、気軽にスポーツ・レ クリエーション活動を楽 しむとともに、健康づく りや交流を深めるため の場を提供する。	市民に安全かつ快適に施設利用 してもらうため、日々施設内点検を 心がけるとともに、サービス向上に 取り組む。 卓球・バドミントン等・スポーツで 体力づくり・余暇を楽しむ。	b	継続	施設の整備や機器の購入に関しては、年次計画により実 施していく。 施設の老朽化に伴うメンテナンスについては、整備箇所 等を考えて検討が必要である。 施設利用に関しては、不定期ではあるが大勢の方々に、 フリー開放時を利用してもらっている。
19	生涯学 習でき るまち	生涯スポーツ の推進(ス ポーツ環境の 充実)	スポーツ施設整備 事業	市民の方々に、安全 かつ快適に利用してもら う。	施設の整備・点検、改修工事等 を実施	b	継続	当初予定していた改修工事等は予定通り実施。 事前点検を重点的に実施。
20	生涯学 習でき るまち	生涯スポーツ の推進(ス ポーツ環境の 充実)	スポーツ教室事業	スポーツ教室開催に より、スポーツの楽しさ を伝えるとともに、健康 の増進を図る。コミュニ ティの場を提供する。	健康体力の増進及びふれあいの 場の提供	b	継続	ヨガ教室 38名、エアロビクス教室 42名 親子体操教 室 176名の参加。

5 平成28年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【生涯学習課】

番号	目標 施策名	基本施策名 (重点施策名)	事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
						評価	今後の 方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
21	歴史を 守り文化と国際化を 育むまち	文化・芸術活動の活性化 (文化活動の 推進)	文化祭事業	文化活動成果発表の 機会を提供し、文化活 動の振興と普及を図 り、文化への理解と市 民のふれあいの場を作 る。	日時:平成28年10月29日(土) ～10月30日(日) 場所:市民総合体育館ほか 内容:(テーマ「輝く文化 はばた け未来へ」) ○作品展示 ○芸能発表 ○各種イベントコーナー	b	継続	多くの来場者があり、市民相互のふれあいと交流が図られた。岩出市誕生10周年記念として、「大好きなまち岩出市」絵画作品コンクールや、1日カフェを実施し、集客に努めた。今後も、「ひとりでも多くの市民参加」を目指し、文化協会等に協力を求め、趣向を凝らし新しい企画の取組に努める。
22	歴史を 守り文化と国際化を 育むまち	文化・芸術活動の活性化 (文化活動の 推進)	公民館フェア事業	公民館文化教室、公 民館利用サークルによ る成果発表の場の提供 と、市民のふれあいの 機会をつくることを目的 とする。	日時:平成29年3月4日(土)～3 月5日(日) 場所:市総合保健福祉センター 内容:(「岩出市民ふれあいまつ り」と同時開催) ○公民館コンサート ○公民館ギャラリー ○公民館チャリティー	b	継続	文化教室及び公民館利用サークルの成果発表の場及び市民のふれあいの機会をつくることができた。保健推進課と連携を図り、周知に努める。
23	歴史を 守り文化と国際化を 育むまち	文化・芸術活動の活性化 (文化活動の 推進)	文化協会助成事業	文化振興、文化交流 に資する団体への助 成。	平成28年4月21日定期総会開 催 常任理事会(5・7・9・2月開催) 理事会(5・9月開催) 11月24日日帰り会員研修 民俗資料館における作品展示 (随時)	b	継続	文化活動の振興と普及・浸透を図り、会員相互の交流が図られた。今後も継続的に支援を行い、文化活動を積極的に推進していく。
24	歴史を 守り文化と国際化を 育むまち	歴史・伝統文化の振興(歴 史的文化的資源 の活用)	国史跡根来寺境内 周辺保全管理事業	平成25年度に実施し た保存管理計画事業を 引き継ぎ、事業効果を 総合的・多面的に評価 しながら史跡根来寺境 内周辺の保全・管理を 図る。	史跡根来寺境内とその周辺につ いて、検討を要する事案が生じた ときに、委員会を開催し、委員の指 導助言を参考に適正な保全を図 る。	b	継続	計画どおり事業が完了。事前に開発行為等の計画について把握する必要がある。史跡の整備計画の方針についての検討が必要。 引き続き、関係機関との連携を図り、史跡根来寺境内周辺における開発行為等の計画の早期把握に努め、史跡の整備計画の方針について検討していく。
25	歴史を 守り文化と国際化を 育むまち	歴史・伝統文化の振興(埋 蔵文化財等の 保護・活用)	埋蔵文化財活用事 業	ねごろ歴史資料館の 開館に伴い、根来寺境 内等の地域の特色ある 埋蔵文化財の総合的な 公開活用を行う。	根来寺遺跡出土資料をねごろ歴 史資料館で展示。公開活用のため 必要な台帳の作成、更新及び報告 書が刊行された埋蔵文化財の分 類、再分類等を行う。	b	継続	計画どおり事業が完了。展示テーマについては、計画的に企画していく。

5 平成28年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【生涯学習課】

番号	目標 施策名	基本施策名 (重点施策名)	事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
						評価	今後の 方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
26	歴史を 守り文化と国際化を 育むまち	歴史・伝統文化の振興(伝統文化の継承)	根来の子守唄保存事業	子守唄の発祥の地という縁で結ばれた6市1村が友好の絆を深め、参加団体の拡大を進めるとともに地域文化の発展に寄与することを目的とする。	加盟自治体6市1村の持ち回りにより、全国子守唄サミット&フェスティバルを開催している。	b	継続	計画どおり事業が完了。「根来の子守唄」を保存・継承していくための仕組みづくりとひとづくりが必要。市民の方との協働による事業の実施に努める。
27	人権が 尊重されるまち	人権尊重の推進(人権尊重の意識醸成)	人権啓発事業	人権尊重思想の普及高揚を図り、市民に人権問題に対する正しい認識を広め、また未来を担う子どもたちが「心豊かで思いやりのある子ども」に育つことを願い、人権意識を高める。	人権講演会 保護者学級 小・中学生人権作文 人権ポスター	b	継続	小・中学生の人権作文集の発行や人権ポスター展の開催、市内各小学校において保護者学級を開設し、引き続き人権教育・啓発に努める。

5 平成28年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【岩出図書館】

番号	目標 施策名	基本施策名 (重点施策名)	事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
						評価	今後の 方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
1	生涯学 習でき るまち	図書館事業の 充実(子ども の読書活動の 推進)	図書館司書派遣事 業	岩出図書館の司書資格を有したスタッフを学校司書として市内各小中学校図書館へ派遣することにより、岩出図書館と学校が連携し、小中学校における学校図書館の活性化及び読書活動の推進を図る。	週1回のペースで、岩出図書館から学校司書を派遣し、学校図書館の環境整備や児童生徒の読書支援及び学習支援、また、司書教諭・学校図書館ボランティアに対する助言等を行う。	b	継続	市内小中学校に各37日学校司書を派遣し、児童・生徒への読み聞かせ・ブックトーク・アニメーションや授業で使用する図書の収集、ビブリオバトルに関する指導をするなど、読書支援・学習支援を行った。前年度に比べ、学校司書が授業等を支援する機会が増え、学校司書の活用度が上がってきた。 平成29年度に岩出市で「図書館を使った調べる学習」地域コンクールを実施するため、全小中学校が調べ学習に一斉に取り組むこととなり、学校が必要とする図書館からの団体貸出の図書の分野が重なる可能性がある。学校での取組に支障が出ないよう、今まで以上に学校司書同士の情報交換・連携を行う。
2	生涯学 習でき るまち	図書館事業の 充実(子ども の読書活動の 推進)	家族ふれあい読書 推進事業	家族が子どもと一緒に読書する時間をつくり、「うちどく(家で読書)」することを推進するとともに、家庭力の向上と子どもの読書活動の活性化を図る。	うちどくにおすすめの図書のリストや家族の読書の記録を書きとめる欄を掲載した「うちどくノート」の配付や図書館におすすめ本を展示するうちどくコーナーの設置を行う。	c	継続	市内の小中学生のうち配付対象学年の児童・生徒に「うちどくノート」を配付するとともに、うちどくの啓発のため、おすすめの図書のリストから出題する「うちどくクイズ」や各小学校から選出された児童の「うちどくの記録」の展示を実施した。また、「うちどくノート」の紙の材質や書き込み用紙の様式を変更するなど、より活用しやすくした。しかし、「うちどくノート」の活用については、学校司書を派遣し始めてから、少しずつ上がってきているが、図書館が期待している活用度には達していない。 平成29年度配付分から、「うちどくノート」に掲載している「うちどくにおすすめのブックリスト」を一部リニューアルし、よりうちどくに取り組みやすくする。また、小学校低学年から習慣的にうちどくに組み込まれるよう、小学校の就学前健診の時に、図書館職員が各小学校に出向き、保護者への啓発を直接行う。

5 平成28年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【岩出図書館】

番号	目標 施策名	基本施策名 (重点施策名)	事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
						評価	今後の 方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
3	生涯学 習できる まち	図書館事業の 充実(図書館 運営)	図書館利用促進事 業	市民の身近にあって、 いつでも、どこでも、だ れにでも図書館サービ スが受けられるように、 岩出図書館と分館・分 室のネットワークによ り、地域密着型の図書 館運営を図る。	さまざまなジャンルの蔵書を充実 するとともに、分館・分室との情報 ネットワーク化の充実を図る。 また、DVD上映会、おはなし会、 各種体験教室、講演会等の開催を 実施し、図書館の利用を促進す る。	b	継続	前年度より入館者数・貸出人数は減少しているが、貸出 冊数は増加している。平成28年4月から図書の貸出冊数が 5冊から10冊に、視聴覚資料の貸出期間が1週間から2週 間になったことにより、貸出冊数は増加したが、一度に借り られる冊数が増えたので、図書館に来館する回数が減少し たためと考えられる。ほとんどの館・室が入館者・貸出人数 が減少し、貸出冊数が増加している。ただ中央公民館図書 室だけは貸出冊数は減少しているが、自主学習する利用 者が増加したことにより、入館者数・貸出人数が増加してい る。 イベントでは、開館10周年の年であったので、絵本作家 の講演会・絵本原画展や子ども向けの電気教室など目新 しいイベントを開催することにより、日頃は岩出図書館を利用 していない方にも参加してもらうことができた。また、開館 10周年を記念し、岩出図書館キャラクターのふくろうの名前 を募集することにより、「ブックろう」に決定)、図書館に対す る関心を持ってもらうことができた。 平成29年4月から、以前から要望があった県内在住者・ 近畿大学生物理工学部通勤通学者に利用対象を拡大す ることにより、新規利用者を開拓し、入館者数・貸出人数の 増加を図る。 特に、駅前ライブラリーについては、他の館・室は年に よって増加・減少を繰り返しているなか、減少の一途をた どっているため、引き続き、高校生の利用を促進するため、 那賀高校図書室と連携し、積極的に図書館のPRを行うと ともに、大学入試過去問題集(赤本)の所蔵を検討する。
4	生涯学 習できる まち	図書館事業の 充実(図書館 運営)	図書等購入事業	図書館の役割は、学 習や交流の場として生 涯学習の推進に大きな 役割を果たす地域情報 の拠点であり、様々な 情報や活用資料などの 提供をするとともに、利 用者の要望に応じて市 立図書館として図書館 運営を図る。	一般図書・児童図書及び視聴覚 資料(DVD・CD)等、図書館資料 の収集を行う。	b	継続	一般図書7,553冊、児童図書3,520冊、参考図書18 0冊、視聴覚資料DVD100枚、CD100枚を購入した。で きるだけ利用者の要望に応え、資料の充実を図った。 今後も、利用者のニーズや社会の動向を把握し、資料収 集を行うとともに、引き続き寄贈の呼びかけや古書店等 での購入により郷土資料の充実を図る。

5 平成28年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【民俗資料館】

番号	目標 施策名	基本施策名 (重点施策名)	事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
						評価	今後の 方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
1	歴史を 守り文化と国際化を 育むまち	文化・芸術活 動の活性化 (民俗資料館 の整備・充実)	民俗資料館資料収 集事業	民俗資料館資料収集事 業計画に基づき、来館者 の関心の高い根来漆器を 優先して収集することで、 希少な文化資源である根 来漆器の保護及び資料 の充実と市民の郷土に対 する関心や理解の向上に 寄与する。	民俗資料館の常設展観事業で使 用する根来漆器を優先して収集 し、根来漆器の一部展示替えを行 うことにより展観事業の充実を図 る。	b	完了	根来漆器を計画どおり購入することができた。今後は、来 館者の方に何回でも民俗資料館に来ていただけるよう展 示方法を工夫していく必要がある。
2	歴史を 守り文化と国際化を 育むまち	文化・芸術活 動の活性化 (民俗資料館 の整備・充実)	民俗資料館展観事 業	郷土の歴史に関する 内容での展観事業を行 うことにより、市民や次 代を担う小・中学生に郷 土の歴史の情報や学習 の場を提供することを 目的とする。	地域に即した内容で、興味を持っ ていただけるような展示を行う。 所蔵品展・収集資料品展(根来 漆器)・企画展・根来塗受講生作品 展示・岩出市文化協会作品展示・ 特別展を開催する。	b	継続	秋季企画展・根来塗講座受講生作品展示・収集資料品 展入館者数は27年度実績値を上回ったが、所蔵品展・岩 出市文化協会作品展示入館者数は、27年度実績値を下 回った。そして本年度から実施の根来寺所蔵宝物展入館 者数は、28年度目標値を上回った。 根来寺が所蔵する宝物・関連する資料や民俗資料館の 所蔵品の展示を通じて根来寺や岩出の歴史・文化に関心 や理解を深めていただけるよう広報活動や展示内容の充 実を図っていく必要がある。
3	歴史を 守り文化と国際化を 育むまち	歴史・伝統文 化の振興(歴 史的文化的資源 の活用)	民俗資料館歴史学 習・講座事業	講演会や歴史講座と あわせて、職員等によ る歴史学習会を実施 し、市民に様々な角度 から郷土の歴史や成り 立ちについて学びふれ あう機会を提供する。	地域に即した内容で、各世代が 興味を持って学ぶことが できるようなテーマや講 師を選定し、多くの市 民の方に参加いただけ るような講演会・講座・ 学習会を開催する。	b	継続	「勾玉づくり」をテーマに開催した夏休み子ども歴史学習 会は、募集定員を超える申込みがあったので、来年度は実 施回数等を増やして対応する必要がある。また、秋季企画 展講演会やふるさと歴史学習会参加者は27年度実績値 を上回ったが、歴史講座は、参加者数が過去3年でもっと も少ない結果となった。 歴史講座については、アンケート結果で要望の多い根 来寺関連や郷土岩出の歴史等の中で特に関心や注目度 の高いテーマのものを実施していく。